



発行所 財団法人兵庫県消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 岸谷義雄 定価 1部44円 (購読料は分損金を含む) 題字 井戸知事

第二〇回全国女性消防操法大会出場

豊岡市女性消防隊 日々精進中

豊岡市豊岡消防団

平成二三年三月二日に発生した東日本大震災に被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。



定位につけ!

来る一〇月一九日、横浜市で開催される全国女性消防操法大会に兵庫県代表として豊岡市女性消防隊が出場します。現在、隊員は消防職員・団員の指導のもと、弱音を吐かず日夜積極的に訓練に励んでいます。

豊岡市女性消防隊は、「美味し中華を食べに行こう!」を合言葉に、昨年の一二月に結成されました。 結成後、大会までの約一〇カ月間という長丁場を乗り切ったため、訓練を開始するまでに何が必要・大切なのかを考え、導き出した答えは「飲み会」でした。 その結果かどうか分かりませんが、最初の訓練から意思疎通が

出来るチームとなりました。 訓練は、市消防本部の大会議室を活用させていただき、年明けの一月から消防操法に必要な礼式訓練に徹底的に取り組みました。今年も数年ぶりの大雪となり、冬期間の約三カ月間は、ひたすら室内で礼式訓練を行いました。この頃、指導する団幹部は、初めての経験であり、全国大会に出場するチームとしての最終形が見えず、不安と苦悩の日々を送っていました。 春を感じるようになった四月以降から、市消防本部の駐車場を活用させていただき、屋外訓練に切り替えました。初めて、軽可搬式小型ポンプ・消防ホース等を取り扱い、また、専門用語が飛び交う中、隊員達は、少しずつ操作方法や用語を理解していき、着実に一歩一歩前に進んできました。 五月中旬からは、隊員からの前向きな意見・発言をもとに、訓練場所を変更し、六月からは「水出し操法」が出来るところまで成長しました。 指揮者の「操作始め」の号令を合図に、一斉に軽可搬式小型ポンプを回転させ、筒先とホー

消したはず 決めつけないで もう一度

第一六回危険業務従事者叙勲が 平成二三年四月二十九日に発令

叙勲の栄に浴された方々は、消防職員として国民の生命、身体及び財産を火災等の災害から防御するため、永年にわたり著しく危険性の高い業務に精励するとともに消防力の強化、充実に尽力され、消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与されました。

今回の叙勲の伝達式は東日本大震災のため例年より遅くなりましたが、平成二三年七月五日(火)午前十一時一五分から東京・日本青年館大ホールにおいて執り行われました。

受章者は、全国で瑞宝双光章四〇八名、瑞宝単光章二〇三名、計六一一名、うち兵庫県関係では、一九名の元消防職員の方々が受章されました。

スを抱えダッシュし、ホースを一直線に延長し、的を落とす。その姿は、入隊間もない頃からは想像も出来ないほど、まるで別人になったような動きを披露してくれました。 甘い言葉に乗せられて入隊した隊員達ですが、出場するからには少しでも良い成績を残したいと、どんどん積極的になってきています。 今年も、平年よりも一〇日以上早く梅雨入りしたため、豊岡盆地特有の蒸し暑さに苦しめられ、梅雨明けすれば、今度は、猛暑に苦しめられています。 この暑い夏を強い精神力で乗り切り、体調不良により隊を去った隊員の想いを胸に秘め、そして、兵庫県代表としての誇り

兵庫県下受章者(消防関係)

- ◎瑞宝双光章 元西宮市 消防司令長 大利 邦喜 元尼崎市 消防監 梶元 逸男 元三木市 消防司令長 竹中 誠一 元神戸市 消防監 中井 忠重 元神戸市 消防正監 中蔦 清吾 元神戸市 消防正監 橋田 治 元尼崎市 消防監 早川 淨 元神戸市 消防正監 福野 隆 元芦屋市 消防監 藤井 清

◎瑞宝単光章

- 元神戸市 消防正監 坊池 政美 元加古川市 消防司令長 宮宅 勝利 神戸市 消防正監 三宅 哲夫 元姫路市 消防司令長 村上 輝生 元高砂市 消防司令長 村山 吉康 元宍粟市 消防監 森谷 秀蔵 元伊丹市 消防司令長 山田 明 元尼崎市 消防監 和田 竹雄

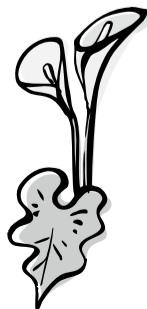


豊岡市女性消防隊

を持ち、一〇月一九日の全国大会に臨みたいと思います。 最後にこの紙面をお借りして、女性操法に関する心得や技術指導等をいただきました赤穂市消防団並びに赤穂市女性消防隊の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。



赤穂市女性消防隊と一緒に



伝達式の様子

# 平成二三年度 安全功労者・消防功労者総務大臣表彰

平成二三年八月一〇日(水)、

平成二三年度安全功労者・消防功労者総務大臣表彰式が、都道府県会館一階大会議室において盛大に執り行われました。

総務副大臣の式辞の後、副大臣から各受章代表者に表彰状が授与されました。その後、日本消防協会会長から祝辞、受章者代表者謝辞の後、閉会しました。

県内からは、本会副会長で小野市消防団の小林正幸団長が受章されました。(敬称略)

安全功労者(団体の部)

姫路天神東団地

婦人防火クラブ



表彰式の様子



小野市消防団 小林正幸団長

明親校区

防災福祉コミュニティ

消防功労者(個人の部)

小野市消防団

団長 小林正幸



表彰状受領時

## 平成二三年度 消防団長名簿

各地区の団長を御紹介します。(平成二三年度七月一日現在、敬称略)

神戸地区	伊藤 繁夫
東灘	伊藤 真彦
中央	深井 勲
兵庫	伊庭 勝一
北	祢木 和明
長田	濱 爲司
須磨	高木 優和
垂水	佐藤 博司
西	北井 道男
水	渡邊 真二
阪神地区	
尼崎市	井内 昭進
西宮市	吉田 昭光

芦屋市	岸本 重男
伊丹市	岸谷 義雄
宝塚市	古東 宏之
川西市	水口 充啓
三田市	畑 一弘
猪名川町	安井 一弘
東播磨地区	
明石市	荻野 忠志
加古川市	後藤 政義
高砂市	作間 尚義
稲美町	橋 剛司
播磨町	加納 利治
中播磨地区	
姫路市	
姫路東	前田 昭廣
姫路西	梅元 義昭
飾磨	富田 重二
網干	春木 壽朗

家島町	上田 辰雄
夢前町	栗林 忠道
香寺町	久斗 讓二
安富町	梅田 善幸
市川町	久田 幸司
福崎町	大野 孝朗
神河町	松本 日出一
北播磨地区	
西脇市	篠根 隆一
三木市	中西 君一
小野市	小林 幸一
加西市	高見 正光
加東市	常峰 登光
多可町	梶間 信明
西播磨地区	
相生市	河合 勝旭
たつの市	田中 昌次
赤穂市	望月 貴次
春名市	春名 貴次
宍粟市	嶋澤 清美
太子町	松本 隆雄
上郡町	松本 隆雄

佐用町	松田 芳夫
但馬地区	
豊岡市	吉岡 忠次郎
豊岡市	西浦 義博
城崎町	西浦 義博
竹野町	仲治 美信
日高町	長岡 健美
出石町	藤井 正昭
但東	坂岡 政昭
養父市	浄慶 治昭
朝来市	石原 康治
香美町	青山 武士
新温泉町	西岡 安雄
丹波地区	
篠山市	市野 哲雄
丹波市	足立 進雄
淡路地区	
洲本市	竹口 弘之
南あわじ市	出口 智康
淡路市	向内 良夫

### 二三年度ひょうご防災リーダー講座 受講者募集について

兵庫県

兵庫県では、平成一六年度から地域防災力の向上をねらいとして、「ひょうご防災リーダー講座」を開催し、本年度も受講者を募集しています。

同講座は、自主防災組織のリーダー、防災ボランティア、民間企業防災責任者など地域の防災の担い手やそれを目指す、兵庫県在住又は在勤の方が対象となっております。また、本講座の修了者には、知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与されるほか、日本防災士機構が行う防災士試験の受験資格が取得できます。

本講座の詳細については次のとおりです。

一 講座の主な内容概要  
災害のメカニズム、地域防災活動とリーダーシップ、建物の耐震化や普通救命講習など防災

二 開講時期  
平成二三年一〇月〜平成二四年三月までの間の一二日間

三 開講時間  
毎回一〇時三〇分〜一六時二〇分

四 会場  
兵庫県広域防災センターほか

五 募集人員  
一〇〇名  
六 受講料  
無料  
七 申し込み方法  
所定の申込用紙により郵送、FAX又は電子メールにて兵庫県広域防災センターまで  
八 申込期間  
平成二三年八月一日(月)〜平成二三年九月二三日(金)

### 「消防団員の証」

県協会は、消防団員の士気高揚を図るとともに、広く一般住民の方に消防団活動を理解していただくため、消防団員のいる家の玄関口等に掲示をしていただくものとして、新たに入団された団員の方々一人ひとりに「消防団員の証」を無料で配布しています。

なお、本講座に関する情報は、兵庫県広域防災センターのホームページでもご欄になれます。

お持ちですか?

まだ、お持ちでない方は市町役場又は消防本部の消防団事務局までお問い合わせください。

## 消 防 服

## 消防設備点検・消火栓器具

キンバイホース 兵庫県特約店

株式会社 三 浦 消 防

姫路市龍野町1丁目1の2

TEL 079-292-0447 FAX 079-298-8663

URL <http://www.msyoubou.com/index.html>

E-mail [msyoubou0447@s9.dion.ne.jp](mailto:msyoubou0447@s9.dion.ne.jp)

わがまちの団長さん

179

「火事を出さない  
まちを目指して」

加西市消防団団長  
高見 光



加西市は兵庫県の南部、播磨平野のほぼ中央に位置し、豊かな歴史を伝承している法華山一乗寺、五百羅漢等の文化財と「花と緑のまち加西」にふさわしい県立フラワーセンターがあることで広く知られています。また、最近では、イオンの進出や三洋電機がハイブリッド自動車用電池システムの開発拠点としての

工場を新設するなど、商工業も発展してきており、大変魅力あるまちになっています。

昭和四十二年四月一日、加西市の誕生とともに発足した加西市消防団は、現在一二分団、一〇二部、一、四一二名の編成で消防団活動を行っています。

高見団長は、昭和五十六年に入団以来、持ち前の行動力と統制力が認められ、分団長、副団長を歴任し、本年度から第一〇代団長として就任されました。就任後はその手腕を遺憾なく発揮し、消防団運営に邁進されています。

家は、金属製品製造業「株式会社カミ」の社長さんで、愛する奥様とともに、従業員の方々と一日中汗を流しながら勤められ、また、「加西ライオンズク

ラブ」にも長年会員として参加、会長も歴任されて、社会福祉にも貢献されています。温厚な顔立ちで、趣味はゴルフ、腕前は…?それよりも、その後の懇親会が特に大好きで、酒は「いも焼酎」、歌は「酒と泪と男と女」と決まっています。こんな人柄から団幹部のみならず、団員からも厚い信頼を得ています。

高見団長は、「予消防」をモットーとして、「どんな小さなことでもいい、できることからやって、防火活動に努めるように」を団幹部はもとより、団員たちに積極的に呼びかけ、自らも他団の活動内容等の情報収集や研究に力を注ぎ、「火事を出さないまちを目指して」を合言葉に、防火活動に励まれています。

われら若手消防団員(41)

「地域の安全を守りたい」

猪名川町消防団  
広根分団  
北山 純也



地域の安全を守ります。

私はこの町に在る以上、自分の住む町の役に立ちたい、安全を守りたいと強く思い、消防団に入団することを決意しました。そして平成一二年に入団しましたが、当時訓練礼式や放水訓練を行った際、指導してくださった諸先輩方の無駄のない動きをみてとても感動しました。また訓練で実施したことを少しでも早く習得し、災害が発生した際は力になれるよう努力していく必要があるとも感じました。

入団して数年がたった五月、近隣で山火事が発生し出動要請がかかりました。今回が初めての出動だったので、現場での動き方が分からず不安と緊張でいっぱいでした。現場に着くと

可搬ポンプを山頂まで持つべくよう指示がありました。ポンプの重さと足場の悪さで体力的にも精神的にもつらい時に、何度も励ましの声をかけていただきました。山頂まで持つていくことができました。過酷な現場での気遣いにとっても感謝しました。消火活動は三日間続き、鎮火したときは達成感に満ち溢れました。また地域の防災訓練では、消火器の使い方や火災の恐ろしさを小学生や地域の方々に指導することで、住民の防災意識の向上に貢献できたことに喜びを感じました。



「地域防災の要」

南あわじ市消防団  
専任副団長 武田 佳則



私は昭和五九年に旧三原郡の西淡町消防団に入団しました。その後、平成十七年一月十一日に旧三原郡四町(緑町、西淡町、

東日本大震災兵庫義援金の募集について

兵庫県では、東日本大震災により極めて広域で未曾有の被害が生じていることに鑑み、阪神・淡路大震災時にご支援いただいた兵庫県の各界各層が一体となり、義援金を募集して被災地を支援しています。

当初義援金の募集については、六月三〇日(木)まででしたが、県民の意識・関心も継続

三原町、南淡町)が合併し、南あわじ市消防団が結成され、団長以下四方面隊五八分団と女性分団で組織され団員二、一九〇名で約一八、六〇〇世帯(人口約五一、三〇〇人)の管轄区域を受け持っています。

また、機動力としてはポンプ車三三台、小型動力ポンプ積載車八四台で日夜市民が安心、安全に暮らせるように日々研鑽しています。しかし、現在消防団では団員の確保が容易ではなくなっています。少子高齢化、団員のサラリーマン化等様々な問題がある中消防団が地域防災に

して高い状態が続いていることから、募集期限を延長し、九月三〇日(金)まで延長しています。是非、ご活用ください。

郵便振替口座…

〇〇九一〇一 三三三三三四〇

(他行から振り込まれる場合)

ゆうちょ銀行

〇九九店

当座 〇三三三三四〇

口座名義…東日本大震災

兵庫義援金募集委員会

詳しい内容につきましては、県ホームページをご確認ください。

県ホームページアドレス

http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac20/ac20\_000000136.html

消防団今昔

81

対する役割、期待が大きくなっているのも事実であります。広域消防本部、自主防災組織との連携を強化し、市民一人ひとりの防災意識を高めるとともに、市民の生命、財産を守ることは当然のことであり、団員一人となり今後更に訓練に磨きをかけ、地域防災の要となるような消防団を目指して努力していきたいと思えます。



- ・操法最適ホース：コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ：ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



**西垣消防器具製作所**  
 669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461  
 TEL:(079)672-3131  
 FAX:(079)672-3132  
 E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp



「こんにちは！  
ひょうごの消防団です」

<http://www.hyogoshoubou.jp/>





**がんばろうニッポン** **がんばるぞ佐用町**

二一年の忌まわしい台風九号災害から二年が過ぎ去りました。皆さまには多方面でお世話になり、本当にありがとうございました。

東北の皆さま、一緒にがんばりましょう。

今年も、佐用町南光ひまわり畑には二五〇万本のひまわりが咲き誇りました。

「ご来町いただきました皆さま、ありがとうございました。きれいだっただけです。」

「ご来町いただけなかった皆さま、ま。ぜひ、来年お越しください。満開のひまわりとともに、お待ちいたしております。」

というところで、「ひまわり畑」は終わっちゃいましたが、佐用町にはまだまだ見所が満載です。

佐用町消防団

で、紹介させていただきます。まず、先陣を切って歴史的な見所を紹介します。

紹介させていただきますのは、佐用町消防団松田団長のお膝元(地元)、宿場町平福です。

江戸時代、因幡街道最大の宿場町として栄えた平福は、千本格子や蔵造りの家並みや、川沿いに点在する土蔵群や川座敷などの「川端の風景」は平福ならではの景観として特に有名です。

また、宿場はずれの川沿いには、剣豪宮本武蔵が初めて勝負を挑んだとされる決闘の場もあり、五輪書序文の一節の碑もあります。

このほかにも、平福郷土館、陣屋門、本陣跡など、ゆつたりとした一日を宿場町平福で過ごしてください。

続いては、宇宙の旅にご招待しましょう。

大撫山山頂に広がる県立西はりま天文台公園には公開用として世界最大の望遠鏡を備えた天文台があります。

観望会などのイベントも多く、誰でも星や宇宙を身近に感じることが出来ます。ご家族、お友達と一緒に

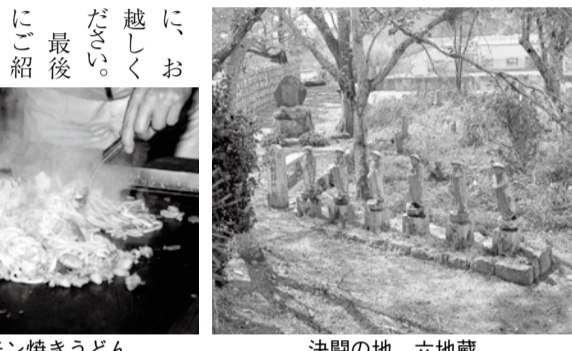
に、お越しください。最後にご紹介させていただきます。名物「ホルモン焼きうどん」です。佐用町内には「ホルモン焼きうどん」のお店が10店ほどあります。

お店ごとに「秘伝のタレ」があり、この付けダレで食べる「ホルモン焼きうどん」は絶品です。リピーターも多く、お抱えのお店を見つけたときからあなたは「佐用通」です。

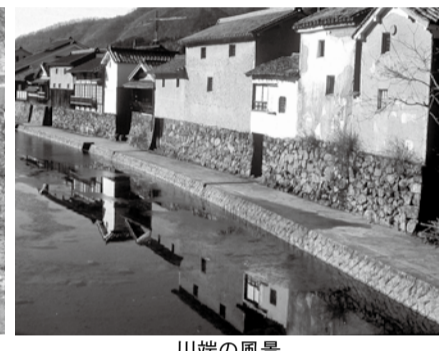
日中は平福でのんびりと、そしてホルモン焼きうどんに舌鼓。夜は星を身近に感じてリフレッシュ。

どうぞです。私の町佐用町。一度訪れてみてください。お待ちしております。

ホルモン焼きうどん



決闘の地 六地藏



川端の風景

推計普及率 (都道府県別)

都道府県名	推計普及率	都道府県名	推計普及率
北海道	72.5%	滋賀県	68.7%
青森県	71.2%	京都府	81.9%
岩手県	61.0%	大阪府	70.7%
宮城県	87.2%	兵庫県	72.1%
秋田県	62.3%	奈良県	60.7%
山形県	64.8%	和歌山県	69.0%
福島県	60.5%	鳥取県	58.3%
茨城県	54.9%	島根県	65.5%
栃木県	64.6%	岡山県	59.1%
群馬県	63.4%	広島県	68.0%
埼玉県	65.7%	山口県	66.4%
千葉県	67.7%	徳島県	60.0%
東京都	88.2%	香川県	62.7%
神奈川県	70.6%	愛媛県	54.2%
新潟県	60.1%	高知県	58.6%
富山県	74.4%	福岡県	78.2%
石川県	82.2%	佐賀県	63.5%
福井県	77.6%	長崎県	78.1%
山梨県	53.8%	熊本県	65.4%
長野県	69.6%	大分県	69.2%
岐阜県	61.1%	宮崎県	57.3%
静岡県	65.6%	鹿児島県	70.8%
愛知県	77.8%	沖縄県	51.3%
三重県	68.7%	全国	71.1%

**住宅用火災警報器の普及状況の推計結果まとまる**

消防法の改正により設置義務化された住宅用火災警報器の普及率について、平成二十三年六月時点での推計が消防庁から発表されました。

住宅用火災警報器の推計普及率は全国で七一・一%の結果となっており、平成二十二年一月時点での推計普及率(六一・六%)から七・五%上昇しています。

消防庁では、この結果を各都道府県消防防災主管部長等に通知するとともに、住宅用火災警報器の設置率が一〇〇%になるよう、さらなる普及促進活動の推進を呼び掛けていくこととしています。

推計普及率 (全国) (H23.6 時点)

	総世帯数 (万世帯)	うち推計普及世帯数 (万世帯)	推計普及率
H22年までに義務化	2,467	1,865	75.6%
H23年義務化	2,412	1,605	66.5%
全国	4,879	3,470	71.1%

**編集後記**

残暑お見舞い申し上げます。今月号も各地区から多数の寄稿をいただきありがとうございます。また、今月号では、豊岡市女性消防隊の第二〇回全国女性消防操法大会について掲載しています。

大変暑い中、大会に向けて訓練を積み重ねられています。兵庫代表として、立派な成績を収められるようお祈り申し上げます。

猛暑日が続いていますが、熱中症等には十分お気をつけください。